

公益財団法人 全国商業高等学校協会主催・文部科学省後援

第68回 ビジネス文書実務検定試験 (4.7.3)

第1級

速度部門問題

(制限時間10分)

試験委員の指示があるまで、下の事項を読みなさい。

〔書式設定〕

- 1行の文字数を30字に設定すること。
- フォントの種類は明朝体とすること。
- プロポーショナルフォントは使用しないこと。

〔注意事項〕

1. ヘッダーに左寄せで受験級、試験場校名、受験番号を入力すること。
2. 問題のとおり、すべて全角文字で入力すること。ただし、網掛けした漢字は同じ読みで間違っているため、正しい漢字に訂正すること。なお、網掛けする必要はない。
3. 長音は必ず長音記号を用いること。
4. 入力したものの訂正や、適語の選択などの操作は、制限時間内に行うこと。
5. 問題は、文の区切りに句読点を用いているが、句点に代えてピリオドを、読点に代えてコンマを使用することができる。ただし、句点とピリオド、あるいは、読点とコンマを混用することはできない。混用した場合はエラーとする。
6. 時間が余っても、問題文を繰り返し入力しないこと。

受験番号

第68回 ビジネス文書実務検定試験 (4.7.3)

第1級 速度部門問題 (制限時間10分)

近年、人々の健康意識が一層高まっており、毎日の生活に不可欠な食品について強い関心を持つ人が多い。中でも、欧米の朝食として定番のオートミールは、えん麦を脱穀して調理しやすく加工されたものである。これまで日本での認知度はあまり高くなかったが、動画投稿サイトで健康食品として紹介されたことで、一部の店舗で品薄の状態が続くほど人気上昇した。	30 60 90 120 150 169
話題になった理由は、栄養面が優れているからだ。カロリー自体は、米や他の穀物と大差ないが、タンパク質や食物繊維、鉄などの栄養素が抱負に含まれている。食後の血糖値の上昇度を示すGI値を低く抑える効果があり、太りにくい食材である。また、身体への悪影響が心配されているグルテンが、ごく少量しか含まれないことから、グルテンフリー食材としても注目を集めた。	199 229 259 289 319 343
さらに調理が簡単であり、手軽に活用できることも魅力である。オートミールは、水を加えて加熱すると、ご飯のような食感が出せるため、炊飯器や電子レンジを活用すれば調理も容易だ。例えば、茶碗にオートミールと好みの具材を載せて、出汁を注ぐとお茶漬けのように食べられる。オリジナル料理の投稿や検索ができる人気のサイトでは、お好み焼きや雑炊などのレシピが数多く後悔されており、閲覧数も伸びている。	373 403 433 463 493 523 536
昨今は在宅勤務の推奨により、自宅で過ごす機会が増えている。その時間を有効活用する手段として、調理にもスポットが当てられている。多くの人に目新しいオートミールは、主菜や副菜だけでなく、どら焼きやケーキなどの焼き菓子にも応用することが可能だ。調理を楽しみながら、栄養可の高い食品を積極的に取り入れることによって、健康面にも配慮した食生活を心掛けたい。	566 596 626 656 686 710